



宇田たか子

日本共産党

6月議会報告

メールアドレス

ツイッター



東石川3227-11 ☎090-2764-6461

新中央図書館は どこに? いつ?

情報公開と市民参加で

市は、東石川第4公園敷地の石川町プールを今夏で廃止し、その跡地を図書館整備地として、この8月にも決定しようとしています。

しかし、平成31年3月に「新中央図書館整備基本計画」が出されて以降、市民に対してほとんど何の情報提供もありません。社会教育施設としての図書

館は、多くの市民の参画により進めることが大切と考えます。

教育部長「市民のための図書館なので、市民の声を聴くことが大切だ。早急に情報公開を行う」

そうであるなら、決定する前に市民に対する説明責任を果たすべきです。

ついに実現

- 人工内耳用電池
- 在宅医療機器用
自家発電機

7月から、障がい者日常生活用具の給付対象となりました。



詳しくは
市ホームページ

地産地消の学校給食を 無償で子どもたちに

無償で子どもたちに



義務教育の9年間、安全・安心でおいしい給食を市内すべての子どもたちに提供することは、子どもたちの健康な体と心をつくる土台となります。

教育部長「生産者との意見交

換会を定期的実施し、市内産の食材の増産に取り組んでいきたい」
宇田議員「給食費無償化についても周辺自治体ではすでに始まっており、本市もできるところから努力してほしい」

中学校で、男女別制服の 見直しが始まっている!

宇田議員「これは当然だと思われていることも含め、学校生活の中であらゆることをジェンダーの視点で見直し、ジェンダー平等に向けて取り組むことが求められる」

教育長「学校におけるジェンダー平等の推進に向けて各学校に助言をし、研修なども行う」

宇田議員「男女別の制服について、どう考えるか」
教育長「市内の各中学校では制服の在り方について、

検討を行っている。取組の共有化を図り、制服を自由に選択できる学校体制の推進をはかる」



ジェンダーギャップ指数

世界146か国中 日本は125位

「ジェンダー」とは、生物学的な男女の違いに対して、「男はこうあるべき」や「女なのに」など社会的文化的につくられた男女のイメージ、固定観念、役割分担
「ジェンダー平等」とは、性別にかかわらず個人の尊厳を大切にされ、自分らしく生きられること

市役所に手話通訳者の配置を求める

聴覚障がい者の多くは、手話を言語としてコミュニケーションしており、手話通訳者がいなければ聞こえる市民と同様に行政の情報を得ることや住民サービスをうけることができません。本市には手話通訳者が配置されておらず、聴覚障がい者に対する責任が問われます。

宇田議員は「市役所では、聞こえないことが障壁とならないようにすること。」

電話リレーサービスや遠隔手話通訳サービスなど新しい制度も使い、特に命に係わるような状況では、聞こえないことが絶対に障壁とならないよう求めました。

手話通訳者

県内での配置状況

水戸市・つくば市・日立市
平日毎日手話通訳者を配置

本市より人口が少ない土浦市・取手市・牛久市・竜ヶ崎市・石岡市でも配置している

請願

宇田議員は、採択すべきと討論を行いました。



不採択

学校給食は無償に

請願者：新日本婦人の会ひたちなか支部
紹介議員：宇田たか子

ひたちなか市は、なんでこんなに高いの？

ひたちなか市の給食費 小学校4,300円
中学校4,700円

長引く物価高騰の中子育て世帯の負担軽減のために、各自治体で学校給食費の無償化や軽減策が進んでいます。

日立市・北茨城市 R5より小中学校無償
水戸市 R5より中学校無償
(段階的に小学校も実施)
常陸太田市 半額補助で 小2,050円 中2,200円

*今年度時限的に無償の自治体、多数
多子世帯への軽減のある自治体、多数

不採択

介護保険制度の改善を

請願者：茨城県社会保障推進審議会
紹介議員：宇田たか子

安心して介護が受けられるように！

ひたちなか市の介護保険料の基準額
2,700円/月が、今では5,500円に

利用料も上がり続けています。

今の制度では、介護を充実させると、保険料、利用料の引き上げに跳ね返ることになります。

必要な人が必要な介護を安心して受けられ、介護職員の処遇改善のためには、公費負担の割合を増やすとともに、公費を抜本的に増額することが必要です。

市民の切実な願い
声が届く議会に！

継続審査

インボイス制度は延期を

請願者：日立民主商工会
紹介議員：宇田たか子

議会として延期の意見書を出すべき

今年10月から実施されようとしている、インボイス制度。

161万の免税事業者が対象になり、コロナ禍や物価高騰から事業の維持、再建を図ろうとしている中小業者やフリーランスに新たな税負担と事務負担を課すこととなります。

インボイス制度は実施すべきではありません。

継続審査

ALPS処理水の海洋放出反対

請願者：未来への風いちから
紹介議員：宇田たか子

議会として反対の意見書を出すべき！

国と東電は、福島原発事故により増え続ける「処理水」の海洋放出を、この夏にも始めるとしています。多核種除去設備(ALPS)でも取り除けないトリチウムを海水で薄めると言いますが、今後40年にわたり莫大な量のトリチウムが海に放出されることとなります。

陸上保管を続けながら、新たな技術開発を急ぐべきです。



ブログ
一般質問と答弁、討論の全文

